

有機溶剤超ろ過膜分離ワークショップ

－NEDOエネルギー・環境新技術先導研究プログラム「有機溶剤の超ろ過膜法開発による化学品製造プロセス革新」の紹介と次世代の膜分離についての勉強会－

日時：2020年1月20日（月）13:00～17:10（開場12:30）

会場：NEDO分室 会議室（大同生命霞が関ビル12階（裏面地図参照））

主催：神戸大学 先端膜工学研究センター

参加費：無料（交流会4,000円）

化学プロセス等では有機溶媒分離には蒸留法が広く用いられていますが、エネルギー消費が大きく、より省エネルギーの分離法が求められています。本ワークショップでは、低排出社会の実現に向け、現在私達が開発を進めております液相で膜分離を行う有機溶剤超ろ過（Organic solvent Hyper Filtration; OHF）膜法について紹介するとともに、膜による溶剤分離が実現したとき、プロセスがどのように変わるか、その可能性とインパクトについて議論、情報交換を行います。膜による有機溶剤分離にご興味のある方は奮ってご参加下さい。

開会挨拶 13:00～13:10

松山 秀人（神戸大学大学院工学研究科教授 先端膜工学研究センター長）

第1部：プロジェクトの概要と研究開発状況（プロジェクト実施機関から）

○神戸大学 13:10～13:40 松山 秀人（大学院工学研究科教授 先端膜工学研究センター長）
「神戸大学における有機膜と無機膜アプローチによるOHF膜開発」

○広島大学 13:40～14:05 都留 稔了（大学院工学研究科教授）
「有機溶剤の液－液分離を目指したオルガノシリカOHF膜の開発」

○ユニチカ(株) 14:05～14:20 小野 貴博（中央研究所機能材料グループ長）
「耐溶剤性OHF膜モジュールの開発」

○(株)J-オイルミルズ 14:20～14:35 佐野 雅人（生産戦略部生産技術グループ長）
「食品（植物油）製造プロセスにおけるOHF膜利用による省エネ化検討」

－ 休憩 14:35～14:45 －

第2部：産業界からの要望、期待、課題等

○(株)高砂ケミカル 14:45～15:05 齊藤 隆夫氏（会長・(株)iFactory 代表取締役）
「医薬品製造連続生産プロセス実現に向けた超ろ過膜への期待」

○JXTGエネルギー(株) 15:05～15:25 壺岐 英氏（中央技術研究所技術戦略室
チーフリサーチャー）
「石油分野における膜分離への期待」

○長瀬産業(株) 15:25～15:45 阿部 哲史氏（エレクトロニクス事業部電子機能材料・プロセス部）
「電子デバイス工場における超ろ過膜のニーズについて」

○リファインホールディングス(株) 15:45～16:05 堀 博氏（未来創造研究室長）
「有機溶剤回収ビジネスの市場と膜分離に望まれる性能」

－ 休憩 16:05～16:15 －

第3部：質疑応答と総合討論 16:15～17:00

質問票に基づく質疑応答とディスカッション

閉会挨拶 17:00～17:10

高橋 優一氏（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
省エネルギー部 主査）

17:30～ 交流会（会場：イリー 霞ヶ関店（同ビル1階））

参加申込（定員80名）

お名前、ご所属、ご連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）、交流会参加有無を下記アドレスの開催事務局担当までEメールでお知らせ下さい。メール件名はワークショップ参加申込として下さい。定員を超えた場合はお断りする場合がございますので早めにお申込みをお願いします。

Eメール先：eng-membrane@lab.kobe-u.ac.jp

参加申込締切：2020年1月14日（火）

お問合せ

下記までEメールをお願いします。

神戸大学大学院工学研究科／先端膜工学研究センター

Eメール：eng-membrane@lab.kobe-u.ac.jp

担当：熊谷（くまがい）

会場案内図

大同生命霞が関ビル

東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅9番出口 徒歩1分

東京メトロ千代田線・日比谷線「霞が関」駅C2出口 徒歩2分

